

「わが村は美しく-北海道」運動コンクール 大賞決定！

～第11回コンクール 小樽開発建設部管内から大賞～

北海道開発局は、「わが村は美しく-北海道」運動 第11回コンクール大賞審査委員会を令和6年6月21日及び7月17日に開催し、優秀賞を受賞した12団体の中から小樽開発建設部管内の「**美国・美しい海づくり協議会／余別・海HUGくみたい**」及び函館開発建設部管内の「**にじいろファーム**」の2団体を大賞に決定しました。

第11回コンクールでは全道56市町村から63団体の応募があり、優秀賞12団体、奨励賞18団体を決定し表彰しました（開発局ホームページで公表済み）。

コンクール2年目となる本年度は、大賞審査委員会を令和6年6月21日及び7月17日に開催し、優秀賞12団体の中から、先導性、モデル性の高い活動を行う2団体を大賞（北海道開発局長表彰）に決定しました。また、今後とも継続した活動が期待される2団体を大賞審査委員特別賞（大賞審査委員長表彰）に決定しました。

○大賞 美国・美しい海づくり協議会／余別・海HUGくみたい（積丹町）
にじいろファーム（七飯町）

○大賞審査委員特別賞 特定非営利活動法人 山のない北村の輝き（岩見沢市）
ピロロツーリズム推進協議会（広尾町）

※コンクールの経緯と受賞団体の詳細は別紙のとおりです。

※表彰式は令和6年11月7日（木）に行う予定です。

ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して

「わが村は美しく-北海道」運動の情報は、以下のホームページに掲載しています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g700000emhm.html



【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

土地改良情報対策官 水谷 友和 (0134-23-5127)

土地改良情報対策官付土地改良情報係長 岩城 勝幸 (0134-23-5232)

小樽開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ot/>



「わが村は美しくー北海道」運動 第11回コンクールの経緯と受賞団体について

北海道開発局
農業水産部 農業振興課

共に北海道の未来を創る
第9期北海道総合開発計画

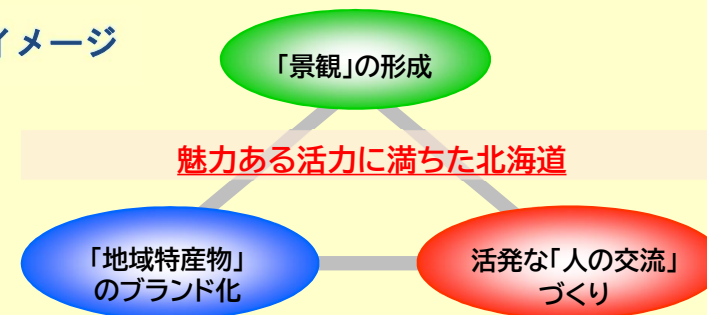
北海道開発局ホームページへはこちらから。



「わが村は美しくー北海道」運動とは

- 「わが村は美しくー北海道」運動は、北海道の農林水産業をより「豊かに」、農山漁村がより「美しく」なることをめざし、平成13年度にスタートしました。
- その活動のひとつとしてコンクールを開催し、道内各地で地域の魅力と活力を高めている地域住民の努力と行動に光をあて、全国に発信しています。
- 令和5年～令和6年度は、第11回コンクールを実施しています。

◆運動のイメージ



「わが村」運動としてのこれまでの取組と成果

第10回コンクール(R3～R4)

大賞（北海道開発局長表彰）

北のなのはな会【安平町】

「菜の花」の再生可能エネルギー資源、観光資源としての可能性を見出し、地域で初めての菜の花栽培・研究を開始したほか、特産品の製造・販売にまで発展させました。

関係団体と連携し、「菜の花さんぽ」等も実施しています。



菜の花畑の幌馬車ドライブ

ほんべつ豆まかナイト実行委員会【本別町】

本別町の特産品である「豆」をテーマに、参加型の豆まきイベントを開催することで、「日本一の豆のまち本別町」を町外へ広くPRし、本別町の商店街に来場客及び観光客を呼び込むことで地域活性化と豆の消費拡大を図っています。



メインイベントの「激豆まき」

「わが村」運動参加団体の活動支援

- 各種広報誌での情報提供
- 北海道開発局ホームページ、メールマガジン、SNS等による情報発信



J R北海道車内誌に受賞団体記事を連載

「わが村」運動を広く伝える取組

- 地域イベントやパネル展等でのPR活動



大通BISSEにてパネル展を開催
(北洋銀行との連携)



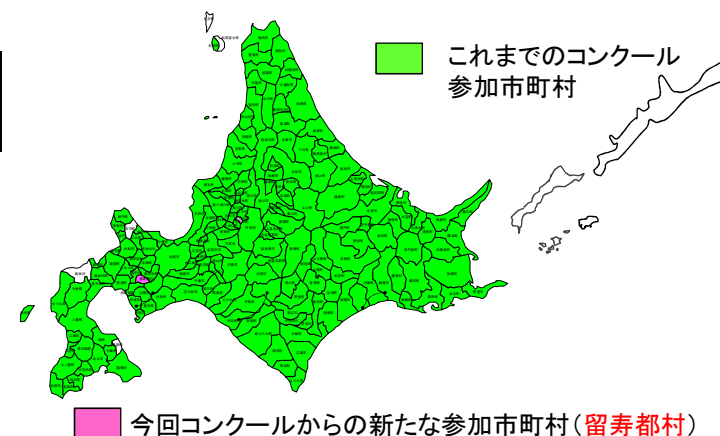
景観ワークショップ
(岩見沢農業高等学校)

「わが村は美しくー北海道」運動 第11回コンクールの経緯

- 第11回コンクールでは63団体が応募。新たに1村からの応募が加わり、全道179のうち173市町村が参加(97%)。
- これまでのコンクール参加団体数は、複数回応募を除き913団体、延べ応募数では1,310団体。
- 受賞団体数は、複数回受賞を除き延べ329団体。

これまでのコンクール参加団体数

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	計
		H13-14	H15-16	H17-18	H19-20	H21-22	H24-25	H26-27	H28-29	H30-R1	R3-R4	R5-R6	(団体)
参加団体数 (重複応募を除いた団体数)		114 (114)	160 (119)	170 (122)	169 (100)	200 (130)	113 (73)	99 (64)	86 (57)	61 (41)	75 (51)	63 (42)	1,310 (913)
景観	金	-	-	-	-	-	大賞 3	大賞 3	大賞 2	大賞 2	大賞 2	大賞 2	
	銀	4	-	1	-	1							
	銅	-	2	1	1	1							
	特別	2	2	2	-	2							
特産物	金	2	2	2	2	2	優秀賞 14 奨励賞 34	特別賞 2	優秀賞 3	優秀賞 2	優秀賞 3	優秀賞 2	
	銀	2	2	2	1	2							
	銅	2	3	2	3	3							
	特別	2	1	1	2	2							
交流	金	2	1	1	1	2	奨励賞 30	奨励賞 14	奨励賞 26	奨励賞 21	奨励賞 20	奨励賞 18	
	銀	2	3	3	2	2							
	銅	3	3	2	3	2							
	特別	3	2	2	1	1							



※ただし、第6回コンクール以降は3部門(景観、地域特産物、人の交流)を統合して実施

コンクール参加市町村

令和5年度

公募(～R5年6月30日)

ブロック審査委員会
(R5年7月～R5年11月)

- ・各開発建設部ごとに設置
- ・応募団体の現地調査
- ・優秀賞・奨励賞の審査・選考

優秀賞・奨励賞の決定・発表
(R6年1月19日)

- ・受賞団体の決定・発表
- ◎優秀賞表彰者～北海道開発局長
- ◎奨励賞表彰者～各開発建設部長

☆優秀賞～優秀な活動を選考

☆奨励賞～将来性や継続性から奨励する活動を選考

令和6年度

大賞審査委員会
(R6年6月～R6年7月)

- ・優秀賞受賞団体の中から大賞候補団体を審査、選考
- ・審査委員は、外部有識者で構成

大賞審査委員会
第1回委員会 6月21日
第2回委員会 7月17日

大賞決定・発表
(R6年9月)

- ・受賞団体の決定・発表(令和6年9月27日)
- ・大賞表彰式(令和6年11月7日を予定)
- 表彰者～北海道開発局長

☆大賞～運動を引率する先導性、モデル性の高い団体を選考

大賞 (北海道開発局長表彰)

にじいろファーム【七飯町】



家庭菜園をきっかけに農業に魅力を感じ、令和2年に新規就農しました。地元の会員農家30軒と協力して野菜のほか、山菜、果物など約150種類を販売する直売所を運営しています。

また、次世代の若者達に農業のすばらしさ、楽しさを伝えるため、修学旅行生の農業体験や、地元中学生の職場体験も実施しています。

美国・美しい海づくり協議会 ／余別・海HUGくみたい【積丹町】



積丹町の特産品であるウニの安定生産のため、ウニの餌となるホソメコンブの藻場再生に取り組んでいます。ウニ殻を施肥材として利用することで藻場が再生され、ウニの生産量と品質が向上するなど、ウニと藻場の循環型再生産を実践しています。

また、漁業と海洋環境保全の理解増進のため、小学生の体験学習や市民を対象としたセミナーを行っています。

大賞審査委員特別賞 (大賞審査委員長表彰)

特定非営利活動法人 山のない北村の輝き 【岩見沢市】



「北村地区に何かを残したい」、「子どもたちが帰ってきたいと思えるような故郷にしたい」との思いから活動を行っています。

河川環境の維持や植樹活動のほか、農泊やキャンプを通じた農作業体験、カヌー体験など地域内外での交流を図っています。



ピロロツーリズム推進協議会 【広尾町】



広尾町を訪問した全ての人に「人とのつながり」を持ち帰ってもらうことを理念としています。多様な一次産業と農山漁村空間が織りなす景観を活用した体験型観光や、地域資源の海産物を使った商品開発などを通じて、みんなが広尾町に来たくなるきっかけづくりをしています。



<参考>「わが村は美しくー北海道」運動 第11回コンクール参加団体

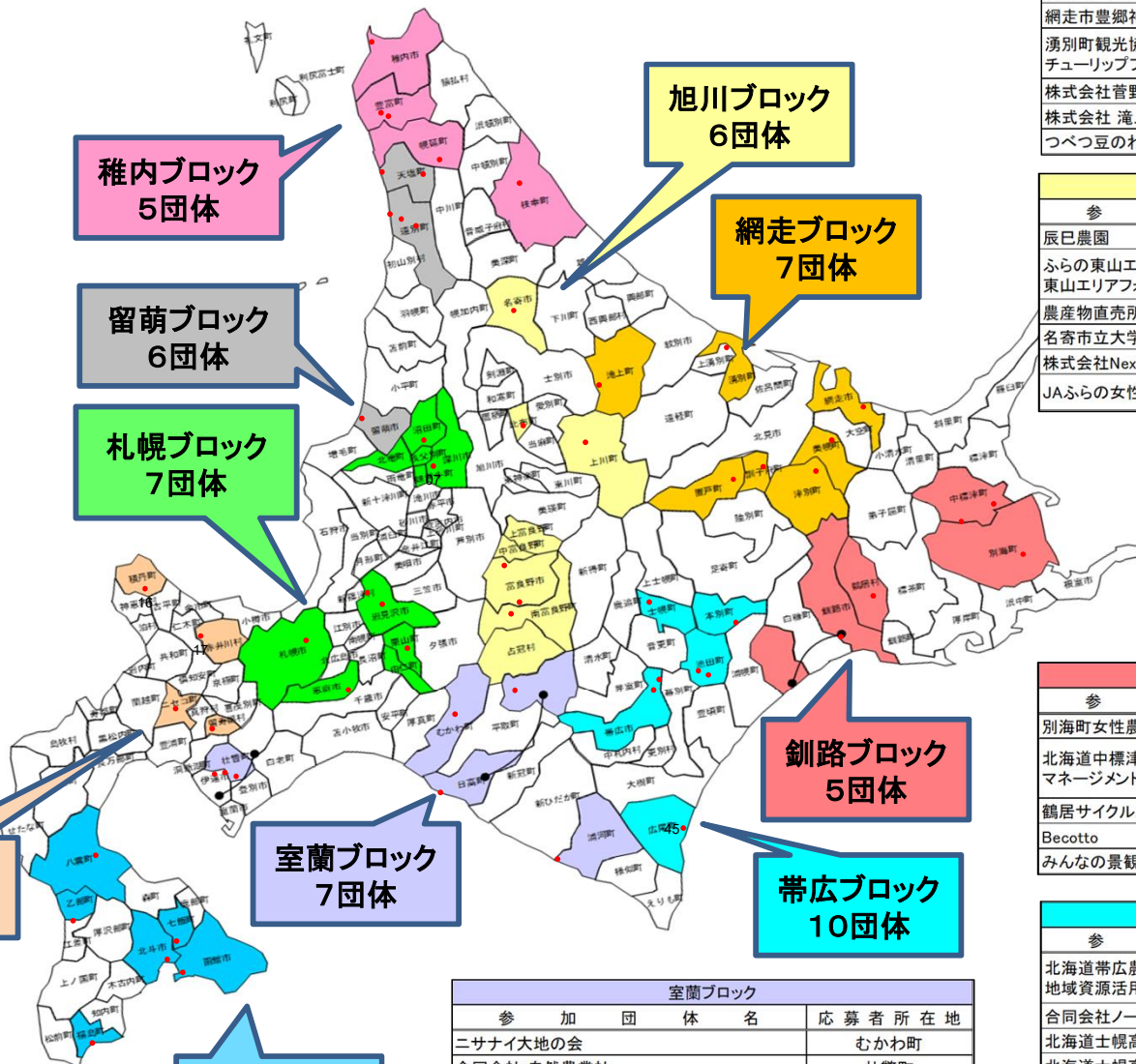
稚内ブロック	
参加団体名	応募者所在地
社会福祉法人稚内市社会福祉事業団 就労継続支援B型事業所稚内市北光園	稚内市
うたのぼり・癒しの森「音夢路」利用促進研究会	枝幸町
ワラベンチャー同窓クラブ	幌延町
認定NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク	豊富町
北海道豊富高等学校ボランティア部	豊富町

留萌ブロック	
参加団体名	応募者所在地
民安ダム「サクラの森づくり」の会	天塩町
べこちちFACTORY	天塩町
北海道遠別農業高等学校	遠別町
「うまいよ！るもい市」実行委員会	留萌市
乳製品加工研究会「美留来のゆめ」	天塩町・幌延町・遠別町
フレッシュ市場「花菜夢」	遠別町

札幌ブロック	
参加団体名	応募者所在地
特定非営利活動法人 山のない北村の輝き	岩見沢市
そらち南農協 青年部	栗山町、由仁町
沼田町産直グループ 愛菜ママ	沼田町
疏水ほっかい愛護連絡協議会	岩見沢市
一般社団法人 恵庭青年会議所(えにわ ハッピー・ハロウィン実行委員会)	恵庭市
札幌伝統野菜「札幌大球」応援隊	札幌市
元気村・夢の農村塾	深川市・妹背牛町・沼田町・北竜町・秩父別町

小樽ブロック	
参加団体名	応募者所在地
北海道留寿都高等学校	留寿都村
しりべし女子会	神恵内村
美国・美しい海づくり協議会 /余別・海HUGくみたい	積丹町
特定非営利活動法人 赤井川観光協会	赤井川村

函館ブロック	
参加団体名	応募者所在地
おとべ創生株式会社	乙部町
一般社団法人福島町まちづくり工房	福島町
八雲町野菜グループ連絡協議会	八雲町
にじいろファーム	七飯町
有限会社 緑友会 六輪村	北斗市
ハコダテフィッシャーメンズ	函館市



網走ブロック	
参加団体名	応募者所在地
一般社団法人 おけと森林文化振興協会	置戸町
合同会社 ひほろ笑顔プロジェクト	美幌町
網走市豊郷神楽保存会	網走市
湧別町観光協会(かみゆうべつ チューリップフェア)	湧別町
株式会社 菅野養蜂場	訓子府町
株式会社 滝上町和ハッカラボ	滝上町
つべつ豆のわ！！プロジェクト	津別町

旭川ブロック	
参加団体名	応募者所在地
辰巳農園	上川町
ふらの東山エリア農村景観を守る会ーふらの 東山エリアフォトコンテスト実行委員会	富良野市
農産物直売所 作倶楽	南富良野町
名寄市立大学援農ボランティアの会	名寄市
株式会社 NexPeak	比布町
JAふらの女性大学	富良野市・上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村

釧路ブロック	
参加団体名	応募者所在地
別海町女性農業士会	別海町
北海道中標津農業高等学校 マネージメント研究班	中標津町
鶴居サイクルスポーツ振興会	鶴居村
Becotto	釧路市
みんなの景観なかしべつプロジェクト	中標津町

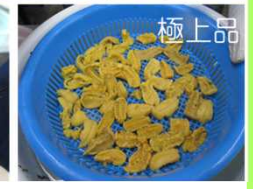
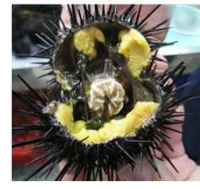
帯広ブロック	
参加団体名	応募者所在地
北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用分会	帯広市
合同会社 ノーサム	帯広市
北海道士幌高等学校 乳加工専攻班	士幌町
北海道士幌高等学校 肉加工専攻班	士幌町
北海道士幌高等学校 畑作専攻班	士幌町
北海道本別高等学校 豆乳クレンジングジェル班	本別町
北海道本別高等学校 豆班	本別町
北海道池田高等学校「池高BIRCH」	池田町
株式会社 地恵贈	池田町
ピロトゥーリズム推進協議会	広尾町

室蘭ブロック	
参加団体名	応募者所在地
ニサナイ大地の会	むかわ町
合同会社 自然農業社	壮瞥町
壮瞥町オロフレ地熱利用野菜組合	壮瞥町
壮瞥町こだわり米を作ろう会	壮瞥町
合同会社 うさぶかんばんにー × ファームイン ひだかくるみちゃんハウス	日高町
チーズ工房1103 × 広富農事組合法人 俱里夢 (くりーむ)牧場	日高町
姉富東ふるさと守り隊	浦河町

特別賞

大賞

特別賞



藻場造成の経済効果 対照区(磯焼け漁場)と設置区(再生藻場)のウニの実の状態

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体 美国・美しい海づくり協議会／余別・海HUGくみたい 【積丹町】

ウニから始まるSDGs～ウニと藻場の循環型再生産システムの実践

【はじめりは？】

積丹町では、町の特産品であるウニが、磯焼け現象により減少していました。積丹町の漁業者で構成されている当組織は、ウニの生産量の減少を食い止めることを目的に、海の森づくり（ホソメコンブの藻場造成）を平成21年度から開始しました。

【おもな活動】

当組織は、ウニの安定生産・供給のため、ウニの餌となるホソメコンブの養殖や廃棄物であるウニ殻を施肥材として利用した藻場再生により、持続可能な漁業を推進しています。

また、水産と畜産の連携の取組として、町内の農業法人が飼育する羊の餌に養殖コンブを与えることで、肉質を向上させたり、積丹町地域活性化協議会が行う海藻などの水産物を利用した商品開発にも協力しています。

漁業と環境保全の理解増進のため、地元の小学生を対象とした体験学習や、町内外の小学生や都市部の一般市民を対象としたセミナーを開催し、これらに用いるプロモーション動画の作成も行っています。



コンブの餌を食べる「しおかぜ羊」



漁業への理解増進活動（ウニ養殖見学会）

【ここが自慢】

ウニ殻肥料による海の森づくりで藻場が再生され、その藻場で育ったウニを漁獲するという「ウニと藻場の循環型再生産」が実現し、ウニの生産量と品質が向上するとともに、SDGsの目標達成にも寄与しています。藻場の保全・創造は、二酸化炭素の吸収源となるため、当組織は「ブルーカーボンクレジット」の取引を行い、得られた資金を藻場造成の拡大に利用することを計画しています。

積丹町では、これらの活動により、「自然、人、産業の和で築くまち」を目指しています。



ウニ殻肥料づくり



ホソメコンブの収穫作業

連絡先

代表者名：白川 浩治さん 澤 貴幸さん／設立：2008年／会員：123名

住所：積丹郡積丹町大字美国町字船濶48番地5

電話番号：0135-44-3382

F A X：0135-44-2125

E-mail：nourin@town.shakotan.lg.jp

U R L：